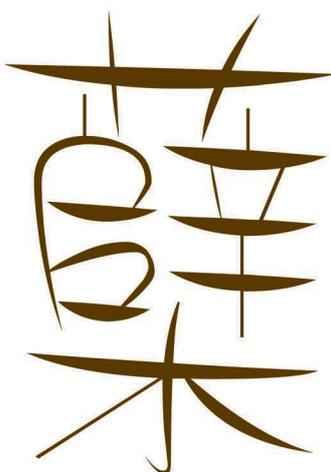


明日の
とりでを
考える



ひ
こ
ば
え

「藁」とは伐(き)った草木の根株から出た芽のことです。草木の根元から力強く萌え出る姿に、市民の皆さんと共に築いていく「明日のとりで」への思いを託しました。

目次

気候非常事態を宣言しました……………	P2
市環境審議会会長に聞く 環境問題に取り組む意義……………	P4
家庭でできる！地球温暖化対策……………	P5
市の環境への取り組みを紹介……………	P6
マイ・タイムラインを作成して備えましょう……………	P8

発行/取手市 編集/広報広聴課
〒302-8585茨城県取手市寺田5139
TEL 0297-74-2141 内線1141 FAX 73-5995
ホームページアドレス <https://www.city.toride.ibaraki.jp/>
電子メールアドレス info@city.toride.ibaraki.jp



気候非常事態宣言都市とりで

「地球温暖化対策として何か取り組んでいることはありますか」と高校生に聞きました。皆さん、さまざまな取り組みをすでに始めています。今号は8月に市が表明した気候非常事態宣言を中心に、環境問題について特集します。



撮影協力：取手第一高等学校地球市民活動部の皆さん。同部では感染症対策で窓を開けたときの教室の温度上昇を抑えるため、3教室でグリーンカーテンを育て地球温暖化防止に努めています。採れたゴーヤは子ども食堂に寄付しています。

常軌を逸した気候変動

気候非常事態を宣言しました

市は8月3日、茨城県で初となる「気候非常事態宣言」を表明しました。気候変動がすでに異常な状況であることを認識し、地球温暖化対策に取り組む決意を示す「気候非常事態宣言」を表明することで、市民の皆さんの関心を高め、気候変動に対応する行動を加速させます。

地球温暖化のメカニズムや、気候非常事態宣言の内容、市の取り組みや市民の皆さんに取り組んでほしい対策などを特集します。

☎ 環境対策課 環境政策室 ☎ 内線 1411

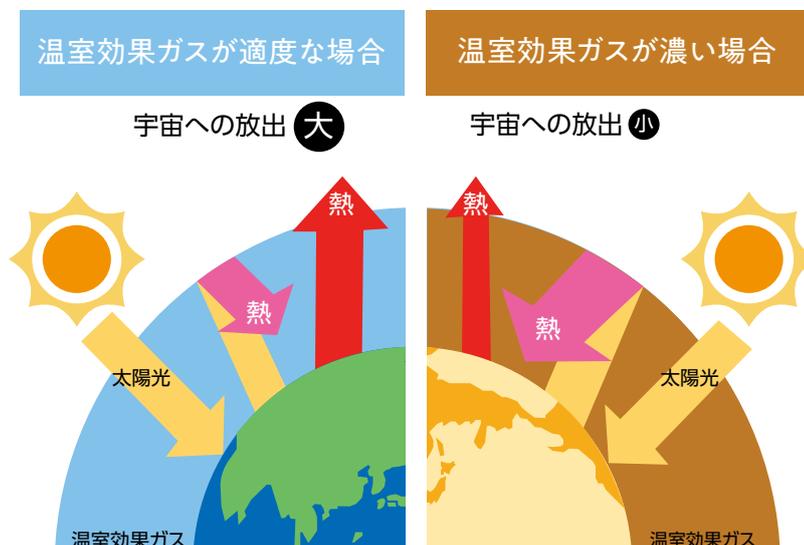
気候変動の要因とされる地球温暖化とは？

地球温暖化のメカニズム

▶ 人間の活動によって増え過ぎた温室効果ガスが原因

地球を包む大気には、二酸化炭素などで構成される温室効果ガスが含まれています。温室効果ガスは、宇宙へ放出される熱の一部を吸収し、地表を適度な温度に保っています。

しかし、人間の活動の拡大によって、温室効果ガスが急激に増えてしまったことで、地表から太陽の熱が放出されにくくなってしまいました。これが地球温暖化です。



気候変動による影響

▶ 水害などの自然災害

短時間に降る強雨や、大雨の頻度が増すことで、河川の洪水、土砂・高潮災害などが増えて、甚大な被害が発生することが懸念されます。

取手市は、利根川・小貝川に挟まれている地形なので、水害のリスクが高くなります。

▶ 熱中症が増加

熱中症による死者数は増加傾向にあり、特に記録的な猛暑となった2010年には、過去最多の死者が出ました。

今年の夏は国が暑さへの気付きを呼び掛けるための「熱中症警戒アラート」を試行。今後、猛暑による健康被害の増加が予測されます。

▶ 農作物への影響

コメにひびが入り割れてしまうなど、農作物によっては品質が低下します。極端に高温となった年には、収穫量が減少します。また、果実の日焼けや着色不良が多発します。

気候変動に対する取り組みが重要です。

取手市気候非常事態宣言の「全文」を読んでみよう！

近年、世界各地で、記録的な高温、山火事、洪水、干ばつなどの極端な自然災害が頻発しています。

我が国においても、猛暑、大型台風、局地的大雨、集中豪雨等により痛ましい被害が各地で発生し、本市においても、利根川・小貝川の流域を抱えており、気候変動による気象災害は極めて深刻な脅威となっています。

世界気象機関（WMO）は、2014年から2019年までの5年間の世界の平均気温が観測史上最も高くなり、海面水位についても観測開始以降の最高値を記録し、その上昇幅も加速していると指摘しています。

このような危機的な状況が警告される中、2015年12月に日本を含む175の国と地域が署名し、採択された「パリ協定」では、「産業革命前からの気温上昇を2度より低い状態に保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求する」ことを世界共通の目標としています。

WMOによると、この1.5℃の上昇を抑えるためには、二酸化炭素排出量を2030年までに2010年比で約45%削減し、2050年前後には実質ゼロにする必要があるとされています。

これらの気候変動は、私たちの日々の行動が引き起こしているものであり、社会や自然界に大きな影響を及ぼしていることを意識していかなければなりません。

未来を担う世代に持続可能な社会を引き継ぐため、本市は、ここに気候非常事態を宣言し、気候変動の「緩和」とそれに「適応」するまちづくりを次のとおり進めていきます。

1. 上記宣言に関する市民への普及啓発に努め、^{リフューズ} Refuse（不要なものは買わない・受け取らない）、^{リデュース} Reduce（ごみを減らす）、^{リユース} Reuse（繰り返し使う）、^{リサイクル} Recycle（再生して利用する）の4Rと再生可能なエネルギーの推進に努めます。
2. 2050年の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする取り組みを進めます。
3. 気候変動の適応策として風水害に強いまちづくりを進めます。
4. 更なる気候変動対策について積極的に呼び掛け、同じ志を持つ方々と手を結び、広く連携していきます。

令和2年8月3日 取手市長 藤井 信吾

▶ 取手市気候非常事態宣言 表明までの経緯

期日（2020年）	内 容
3月2日～31日	市民意見公募（パブリックコメント）を実施
4月23日	市長から市環境審議会へ諮問
7月13日	市環境審議会から市長へ答申
8月3日	市議会議員全員協議会で同宣言の実施を報告 市長が気候非常事態宣言を表明

▶ 世界の動き、国内の動き、取手市の動き

2016年12月にオーストラリア・デアビン市が行政機関として最初に「気候非常事態」を宣言。その後ロンドンやパリなど世界の自治体に広がり、世界中で1,700以上の自治体が表明しています。

国内では、2019年9月に長崎県壱岐市が初めて宣言を表明し、26自治体が表明しています（2020年8月28日時点）。

市は、再生可能エネルギーの導入や、下記のとおり市民の皆さんへの啓発活動などを進めていきます。

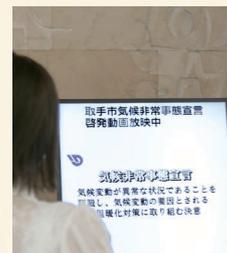
- 懸垂幕（本庁舎）、横断幕（藤代庁舎）、のぼり旗（本庁舎など）の設置
 - デジタルサイネージ（本庁舎正面玄関前）の設置
 - 広報紙への掲載（不定期）、啓発動画を市ホームページで公開
 - 地球温暖化防止実行計画の策定
- 庁内ワーキングチームを編成し、施策検討、目標設定（2021年3月策定）
- 教育委員会と連携し、市立小・中学校での環境教育を実施 など



気候非常事態宣言を表明する市長



横断幕（藤代庁舎）



デジタルサイネージ

啓発動画は
コチラ！



環境問題に取り組む意義

市環境審議会会長・氷鉤揚四郎氏は、気候非常事態宣言の表明にあたり、委員の皆さんと審議を重ねてきました。今回、取手市で宣言を出す意義や、今後取り組むべき課題などについてお聞きしました。

会長は、市環境分野の最も基本となる第二次取手市環境基本計画（p5 参照）の策定にも尽力されました（同計画は筑波大学と市の共同で策定）。

▶気候非常事態宣言

ー今回、取手市が県内の市町村で初めて気候非常事態宣言を表明しました。その意義をどのように捉えていますか。

第二次取手市環境基本計画は、気候非常事態宣言の背景を意識した計画の体系となっています。同宣言を発出したことで、将来を見据えた視点から、行政・市民が、今できること、今行うべきことを行うという意思を表明したと理解できます。

環境問題は、地球全体のことを考えながら地域から行動することが重要です。その意味で、同宣言は重要な第一歩です。併せて、県内外の自治体と協力して行うべき気候変動対策の推進において、取手市が先駆的な役割を果たすことが期待されていると考えます。



ー市環境審議会としては、今後の市の施策展開にどのように関わっていきたいですか。

環境審議会は諮問機関として位置付けられています。市長から施策展開について諮問があり、調査、審議し、市民の意見を反映させて合意形成を行い、これに答申するというスタンスが基本になります。

市民、企業、行政の代表者などが環境審議会の委員を委嘱されているので、同宣言の趣旨にもある市民の意識向上、積極的参画を促すための役割の一翼を担うべきと考えます。

地球規模で考え、地域で行動を。



氷鉤揚四郎氏

筑波大学名誉教授（環境政策、地域経済学）。人間の生産活動と自然環境の関係をモデル化し、環境改善のためのシミュレーションを行っている。

▶地球温暖化

ー地球温暖化対策で、市民の皆さんが取り組みやすいこととして、何が考えられますか。

以下が主な対策です。

① 4R*の実践

気候非常事態宣言の中でも取り上げている 4R は、「使い捨て社会」から資源を繰り返し使う「循環型社会」へシフトしていくのに重要な考えの一つです。

生活ごみ、資源ごみの分別を意識して行えば、これに期待されている効果はかなり得られます。

※ 4R…^{リフューズ} Refuse（不要なものは買わない・受け取らない）、^{リデュース} Reduce（ごみを減らす）、^{リユース} Reuse（繰り返し使う）、^{リサイクル} Recycle（再生して利用する）

②省エネルギー

「つけっぱなしの不要な照明を消す」的な省エネルギーから、照明器具、電化製品、乗用車をエネルギー効率の良い製品に買い替えるなどあります。

③太陽光発電などの再生可能エネルギー導入 など



具体的な対策を p5 で紹介！

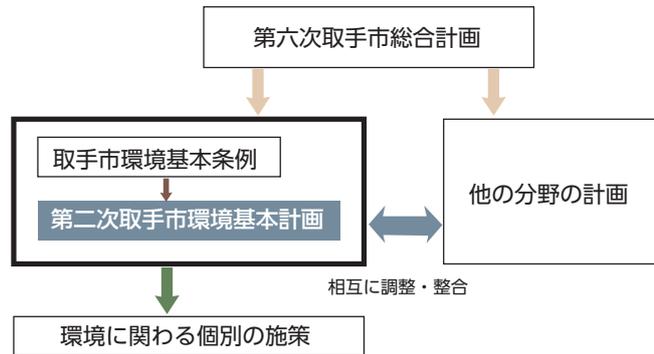


第二次取手市環境基本計画とは？

▶環境保全などの施策を推進する計画

第二次取手市環境基本計画は、「市環境基本条例」に基づいて、総合計画とともに、環境を巡るさまざまな局面で、取手市における活動を規定します。環境分野で最も基本となる計画です。

環境に関わる個別の施策には、その内容が直接反映されます。また、他の分野の計画との間で、整合・調整がされていて、その施策の実施を相互に補完し合います。



家庭でできる！地球温暖化対策

4Rの実践や省エネルギー対策というと、何か我慢を強いられるイメージがあるかもしれませんが、しかし、家庭や生活の多くの場面で気軽にできて、地球温暖化防止に役立つとしたら……。さあ、今日から実践してみましょう！

▶部屋の中で過ごすときは



- 室温は冷やし過ぎないで
冷房時の室温は28度を目安に。体調などを考慮しながら、無理のない範囲で室温管理をしましょう。
- 家電はこまめに電源を消す
テレビなど家電からの放熱も冷房効率に影響するので、使わない家電の電源は消しましょう。
- カーテンを閉める
外出前にカーテンを閉めたり、ブラインドで室温上昇を抑え、部屋に熱がこもらないようにしましょう。

▶家事をするときは



- 料理の作り過ぎや食べ残しをしない
現在、食べられるのに廃棄される食品は年間数百万トンにもなると言われています。残さず食べましょう。
- 家電の買い換えで無理せず省エネ
省エネルギー性能の高い家電を選ぶことで、使用時の電力消費が抑えられ、電気料金も安くなります。
- ごみは分別しましょう
リサイクルできるものが増えれば、ごみの総量が減り、処分時に発生する温室効果ガスを減らせます。

▶お出かけのときは



- エコバッグを活用
使い捨てとなるプラスチックごみを削減するため、買い物にはエコバッグを持っていきましょう。
- エコドライブを心掛ける
エコドライブは、低燃費で安全を考えた運転です。ゆっくり加速、ゆっくりブレーキ、車間距離にゆとりを。
- 公共交通機関を利用
通勤・通学・買い物・旅行など、日々の移動をエコに。近い場所には自転車を使うか、歩いて行きましょう。

あなたの行動は地球を救う一歩です。できることから始めましょう！

市の環境への取り組みを紹介



環境への
取り組み

市は、環境への取り組みを進めています。その中から、今回は四つの取り組みをご紹介します。今後もさまざまな事業を行うとともに、市民の皆さんへの環境保護に向けた普及・啓発活動に取り組めます。

緑のカーテンの普及・促進



市はゴーヤなどツル性の植物をはわせて日差しを遮る「緑のカーテン」を、公共施設に率先して設置。冷房効率を高め省エネルギーを目指しています。

また、市民への普及のため、「緑のカーテンコンクール」を開催しています。写真は令和元年度団体の部大賞の「いこいの+TAPPINO」の緑のカーテンです。

皆さんも育てませんか



グリーンカーテンは日差しを遮り、見た目にも爽やかです。コツは毎日の水やり。当番を決め毎日2回以上行います。成長が早く、日々育っていく姿を眺めるのが楽しみです。取れたゴーヤはゴーヤチャンプルや塩生もみにして食べるのがお勧めです。



いこいの+
TAPPINO
ひまし
田中寿代表

公共施設への再生可能エネルギー導入



公共施設、特に防災拠点となる施設に太陽光発電施設を整備しています。現在、取手市役所、永山小学校、取手小学校、サイクルステーションとりで(CST)、取手ウェルネスプラザ、井野なないろ保育所に導入しています。これにより二酸化炭素排出量の削減を目指します。

環境教育の一助にも



井野なないろ保育所の太陽光発電システムは、室内から発電量が見えます。幼児のころから再生可能エネルギーの大切さに触れることは環境教育に役立ちます。



井野なないろ保育所
保育士

いもりの里事業



平成 21 年 10 月にスタート。地域住民、大学、市が協力して長年放置されていた里山・谷津田を保全し、次世代に豊かな自然を残すとともに、復元した自然環境を子供たちの学習の場として活用しています。農業体験や、筑波大学の先生や学生が講師を務める自然観察会や公開講座などを開催しています。

多様な生物が生息



いもりの里は適度に人の手が入ることで、さまざまな生き物同士がバランスを保って生息しています。これを生物多様性といいます。自然観察会や夜間に行う灯火観察(写真)が人気で、集まった子供たちに生物多様性の意味や大切さを説明しています。

筑波大学
八畑謙介講師

生命科学の研究に



イモリは四肢を失っても元どおりに再生できます。しかも年を取っても繰り返し再生できることから、生命科学の研究に有用で医療の道を開くと期待されています。しかし、生息数減少のため、準絶滅危惧種となりました。いもりの里では研究・教育用イモリの安定的な自然繁殖に取り組んでいます。



筑波大学
千葉親文教授

子供の記憶に残る体験を



いもりの里は昭和 40 年代以前の田んぼや林の環境を復元しています。田植えや稲刈り体験、どろんこ田んぼ運動会(写真)は多くの親子連れでにぎわいます。生き物と触れ合う生きた体験は、将来の環境保護にもつながります。

筑波大学
丸尾文昭助教授

学校で出前授業



市職員が学校などで環境問題を講義しています。6月、取手第一高等学校で、地球温暖化のメカニズムや気温上昇による影響について講義しました。今後は市立小・中学校で行うことも検討しています。

熱心な高校生



生徒はメモを取りつつ、真剣に授業を聞いていました。レジ袋の有料化が始まることを知らせると、すでに多くの生徒が知っていました。



市環境対策課職員

利根川・小貝川の流れる取手だからこそ マイ・タイムラインを作成して備えましょう

台風シーズンは河川の増水で避難が必要になることも想定されます。「マイ・タイムライン」は河川が氾濫しそうなときの自分や家族の行動を時系列に沿って決めておくものです。

家族構成や生活環境に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握してマイ・タイムラインを作成し、「自分の逃げ方」を手に入れましょう。



マイ・タイムラインとは？



川の防災情報

やってみましょう！

に「洪水時の基本的な行動」から選んで入れてみましょう。そのほか、自分や家庭の状況からやるべきことがないか考えてみましょう。＊警戒レベルなどのタイミングはイメージであり、実際の洪水時とは異なることがあります。

台風直撃 3日前	警戒レベル 1 <small>※風情報です</small> 	台風が接近 このとき何をしますか	<input type="text"/>
台風直撃 2日前	警戒レベル 2 	雨風が強くなる このとき何をしますか	<input type="text"/>
台風直撃 1日前		川の水位が上昇 このとき何をしますか	<input type="text"/>
台風直撃 半日前		川の上流から水が集まる このとき何をしますか	<input type="text"/>
		さらに川の水位が上昇 このとき何をしますか	<input type="text"/>
氾濫 5時間前	警戒レベル 3 避難準備・高齢者等避難開始	河川敷のグラウンドが水没 このとき何をしますか	<input type="text"/>
氾濫 3時間前	警戒レベル 4 避難勧告 避難指示 (緊急)	川の水があふれそう このとき何をしますか	<input type="text"/>
	警戒レベル 5	氾濫発生	

■ 洪水時の基本的な行動 順番を考えてみましょう！

- A. 避難しやすい服装に着替える
- B. 避難するときに持って行くものを準備する
- C. テレビやホームページで今後の台風を調べ始める
- D. 川の水位を調べ始める
- E. 住んでいるところと上流の雨量を調べ始める
- F. 安全なところへ移動を始める
- G. 避難完了

＊最後の には G が、最後から 2 番目の には F が入ります。それ以外は決まった正解はありません。

■ 市防災情報の登録を



ホームページ



メルマガ



洪水ハザードマップ

ミニ・トピックス

小貝川で護岸工事が進行中

現在、小貝川で堤防を強くするための護岸工事が進行中です。この工事は昨年の台風 19 号の増水などで傷ついた小貝川の堤防を修復し、強度を増すために、国土交通省関東地方整備局下館河川事務所が片町・下萱場地先で進めています。

写真は工事用道路が整備された現在の小貝川橋付近の様子です。今後、増水で削られた川岸などに根固め用ブロックが順次設置される予定です。



工事用道路を整備



根固め用ブロック

＊関東地方整備局ホームページ (https://www.ktr.mlit.go.jp/river/bousai/mytimeline/timeline_03.html) を基に編集しました。